

## Shining3D IPG コードスキャンボディ

## 【禁忌・禁止】

- ①併用する医療機器がある場合は、併用する医療機器の添付文書を必ず合わせて参照すること。
- ②適切な術前診断、治療計画を行った上で、メーカーの指定する器具等を使用すること。
- ③本品、類似成分の合金又は配合成分に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には、使用しないこと。

## 【形状・構造及び原理等】

本品は、以下のものから構成され、単品又は組み合わせて製造販売される。

IPG コードスキャンボディ

HACS モデル



CS モデル



|            |            |            |
|------------|------------|------------|
| HACS-A15-1 | HACS-A20-1 | HACS-A25-1 |
| HACS-A15-2 | HACS-A20-2 | HACS-A25-2 |
| HACS-A15-3 | HACS-A20-3 | HACS-A25-3 |
| HACS-A15-4 | HACS-A20-4 | HACS-A25-4 |
| HACS-A15-5 | HACS-A20-5 | HACS-A25-5 |
| CS-AA      | CS-AB      | CS-AC      |
| CS-AD      | CS-AE      | CS-AF      |

スクロイドライバー



トルクレンチ



## 【使用目的、効能又は効果】

本品は、口腔内スキャナー（一般的名称：デジタル印象採得装置）によるデジタル印象採得を行うための技工用器材である。

## 【操作方法又は使用方法等】

本品は滅菌されていないため、使用前に滅菌ガイドに従って洗浄滅菌してから使用すること。

IPG コードスキャンボディは最大300回オートクレーブが可能である。

《滅菌条件》

温度：121℃、時間：30分、乾燥時間：30分

※ここでは概要を記載します。詳しくは取扱説明書を参照してください。

- 1) 組織への圧迫を避けるため、適切な IPG コードスキャンボディを選択する。
- 2) IPG コードスキャンボディをスクロイドで固定する。
- 3) 全ての IPG コードスキャンボディを完全にスキャンする。
- 4) コンピュータ支援設計（CAD）／コンピュータ支援製造（CAM）システム（一般的名称：歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット）の技工用デザインソフトのライブラリとマッチングして、支台、上部構造をデザインする。

## 【使用上の注意】

## 1) 重要な基本的注意

- ① 本品は本書に記載の使用目的以外に使用しないこと。
- ② スキャンボディの洗浄に超音波を使用しないこと。
- ③ スキャンを開始する前に、スキャンボディの表面が乾いていることを確認すること。
- ④ 破損したスキャンボディは使用せず速やかに交換すること。
- ⑤ スキャンボディを分解したり、改造したりしないこと。
- ⑥ 内蔵ネジは適合ドライバーで締め付けること。  
(最大締め付けトルク：15N・cm)
- ⑦ スキャンボディをインプラントに取り付けた後はスキャン中に回転させないこと。
- ⑧ コーティングの破損を防ぐためスキャンボディ上部の黒い部分をピンセットで挟まず下部の金属を挟んで使用すること。

## 【使用期限】

5年

## 【製造販売業者及び製造業者の名称及び住所】

製造販売業者：株式会社ジオメディ

福岡県福岡市博多区吉塚一丁目 38-28 ジオビル

TEL : 092-409-4050 , FAX : 092-409-4051

製造業者：Shining 3D Tech Co., Ltd.

(シャイニングスリーディーテック)

製造所国：中華人民共和国